

下水道小委員会報告案構成

下水道事業の現状に関する課題

現下の下水道整備上の課題

- ・汚水処理施設の未普及
- ・集中豪雨の頻発と浸水被害の拡大
- ・水質改善が進まない閉鎖性水域
- ・合流式下水道の機能的弱点

ストック管理の視点でみた課題

- ・急増する老朽化施設
- ・地震に対する下水道施設の脆弱性

山積する課題、社会経済状況の変化踏えた政策転換

基本的課題認識 (2章)

社会状況の変化に伴う課題

人口減少社会への移行に伴う課題

- ・本格的な人口減少・高齢化社会の到来
- ・厳しさを増す財源確保

新たな環境問題への貢献に係る課題

- ・都市化による水・物質循環系の激変
- ・地球温暖化の進行と資源・エネルギー問題の深刻化

これからの下水道政策の基本的考え方 (3章)

下水道政策転換の方向性

- ・管理・経営の重視
- ・安全・環境の重視

安全 環境 暮らし 活力の観点から役割を再構築
次期社会資本整備重点計画の重点目標分野を踏まえ、

これからの下水道の役割

安全で安心な暮らしの実現

- ・豪雨による浸水被害の最小化
- ・地震発生時の機能保持
- ・機能の改善・高度化による水系リスクの低減

良好な環境の創造

- ・高度処理による閉鎖性水域の水質改善
- ・水・物質循環系の健全化による良好な水環境の創出
- ・資源・エネルギー活用による循環型社会への貢献

快適で活力ある暮らしの実現

- ・汚水処理施設未普及地域の解消
- ・活力ある地域づくりへの貢献

これからの下水道の役割を実現するための施策転換

施策展開における重要な視点

- ・多様な主体の参加と協働
- ・地域性の重視
- ・施策の総合化
- ・事業の重点化
- ・事業体系等の見直し

整備目標と講ずべき施策 (4章)

施策の考え方、整備目標、具体施策を提示
「安全」、「環境」、「暮らし活力」の3分野及び「事業の継続性」について

安全	浸水被害の軽減
	地震対策の推進
	水系リスクの低減
環境	公共用水域の水質改善
	健全な水循環系の構築
	資源・エネルギー循環の形成
暮らし活力	公衆衛生の向上と生活環境の改善
	活力ある暮らしの実現
	管理の適正化
事業の継続性	経営基盤の強化

着実に進めるべき施策 (5章)

- 執行体制の確保と支援体制の強化
- 新技術開発・導入の推進
- 国際協力の推進